

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)						
研究番号	2023-0044	主たる研究機関	大同生命保険株式会社	分担研究機関	なし	
研究題目	睡眠時間が死亡・傷病発症リスクに与える定量的影響のモデル化			研究期間(西暦)	2024年4月1日 ~ 2026年3月31日	
実施責任者	辻岡 康信		所属	商品部	職位	部長
研究目的と意義	<p>急速に進む少子高齢化に直面している我が国では、健康で豊かな人生をより長く送るために、「いかに健康寿命を延伸するか」が社会的な課題となっており、政府も健康寿命の延伸に向けて、「健康づくり・疾病等の予防への取組みが非常に重要である」旨を指摘しています。こうした動向を踏まえ、長期にわたってお客さまの人生を支えることが使命である生命保険各社において、従業員や家族、地域社会等に対する健康づくりの取組みが進められています。また、健康づくりを支援する「健康増進型保険」(健康増進につながる保険)も注目を集めており、当社においても、所定期間における被保険者の1日あたりの平均歩数が基準値を達成した場合、翌保険年度の保険料を割引く「健康増進型保険 会社みんなでKENCO+」を2022年1月から発売しています。</p> <p>本研究の目的は、睡眠時間と健康に着目し、睡眠時間と死亡リスク・傷病発症リスクとの関連を定量的に明らかにし、新たな健康増進型保険の開発につなげることです。傷病発症については、高血圧、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、心筋梗塞、慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、骨折を対象とします。</p>					
研究計画概要	<p>睡眠時間と各種健診結果(BMI、血圧、尿検査など)の相関を分析し、睡眠時間の特性が健診結果項目に与える影響を基に死亡リスク・傷病発症リスクへの影響を定量的に測ります。</p> <p>具体的には、調査票に記載されている睡眠時間の長さにより複数の群に分類し、健康調査項目に差があるかを解析します。次に、当社の保持している保険契約のデータベースから各契約の告知・健診結果と支払いデータを使用して、各健康調査項目と死亡・傷病発症リスクの関係を解析し、両者をつなぎ合わせることで睡眠時間の違いが死亡リスク・傷病発症リスクに与える影響を定量的に算出します。</p> <p>将来的には、適正な睡眠時間が達成された場合、翌保険年度の保険料を割引くなど健康増進型保険の開発を検討します。</p>					
利用するもの	<p>対象: <input checked="" type="checkbox"/>地域住民コホート調査 <input type="checkbox"/>三世代コホート調査</p> <p>試料: <input type="checkbox"/>DNA <input type="checkbox"/>血漿 <input type="checkbox"/>血清 <input type="checkbox"/>尿 <input type="checkbox"/>母乳 <input type="checkbox"/>単核球 <input type="checkbox"/>EBV不死化細胞 <input type="checkbox"/>増殖T細胞</p> <p>情報: <input checked="" type="checkbox"/>基本情報 <input checked="" type="checkbox"/>調査票情報 <input checked="" type="checkbox"/>検体検査情報 <input checked="" type="checkbox"/>特定健康診査情報 <input type="checkbox"/>生理機能検査情報 <input type="checkbox"/>メタボローム解析情報 <input type="checkbox"/>プロテオーム解析情報 <input type="checkbox"/>認知・心理検査情報 <input type="checkbox"/>MRI画像解析情報 <input type="checkbox"/>MRI画像情報 <input type="checkbox"/>全ゲノム解析情報(全て) <input type="checkbox"/>全ゲノム解析情報(特定領域) <input type="checkbox"/>SNPアレイ情報(全て) <input type="checkbox"/>SNPアレイ情報(特定領域) <input checked="" type="checkbox"/>その他の情報(介護保険情報、医科レセプト情報)</p>					
期待される成果	<p>本研究により、年代ごとの適切な睡眠時間に関して睡眠時間と死亡リスク・傷病発症リスクとの関連に関する新たな学術的知見が得られる可能性があります。また、本研究で明らかになったモデルを活用し、新たな健康増進型保険を開発することで、将来的には被災地住民含む人類の健康増進につながると考えます。</p>					
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	<p>当研究は東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会の承認を受けて実施します(受付番号:2023-4-158)。</p>					
倫理面、セキュリティ面への配慮	<p>分譲された情報は、ToMMoのセキュリティ・ポリシーに沿って研究に関わる者以外のアクセスができない環境に保存したうえで解析します。</p>					
その他特記事項	なし					
(事務局使用欄)	*公開日 2024年5月28日					